

看護学雑誌 第57巻 総目次

1993年1-12月

(表示は、題名：筆者名、号数、開始ページ)

●特集

エイズの現在

- エイズとのたたかい——医療の最前線で働く看護婦のみなさんへ：徳永徹，1，18.
エイズのプロフィール：吉原なみ子，1，22.
エイズのメカニズムと治療薬の開発：山本直樹，1，27.
一般病院におけるエイズ患者の治療とケア：島田馨，1，35.
エイズをめぐるバイオエシックス：甲斐一郎，1，37.
エイズ禍にあるアメリカの医療従事者たち：石田安男，1，41.
[インタビュー]“文盲”こそ諸悪の根源——アフリカでエイズに取り組む助産婦：徳永瑞子さん，1，46.

もっと自分を広げよう

- いま、学ばずにはいられない——時代は生涯学習：栗原知女，2，114.
臨床で働く看護婦の立場から法律を学ぶ：箭野育子，2，126.
学ぶことの本当の意味：市川幾恵，2，128.
臨床にいたからこそ、いろいろなことが見える——狭かった大学編入，短大進学への門：山崎ゆき，2，130.
看護婦としてのもう1つの生き方：岡本美和子，2，133.
働きながら学ぶ人を応援しよう！：塚田トキエ，2，136.
[座談会]社会人にも門戸開放を！——開かれた看護界をめざして：中西睦子・坪千代子・末安民生・[司会]岩下清子，2，139.

看護史への誘い

- なぜ、今歴史なのでしょう——看護史を見直してみよう：坂本玄子，3，210.
人の生き方に興味を持とう——歴史を身近なものに：高田節子，3，214.
歴史の中に見えるもの：平尾真智子，3，217.
失われた記憶，マリア・T・ツルーと日本最初の看護婦学校：亀山美知子，3，221.
明治時代の看護婦像：坪井良子，3，226.

3年目をどうすごすか

- [講演]3年目の節目で主体的に：川島みどり，4，306.
[座談会]それぞれの道を歩み始める——3年目を迎えた同窓生：坂本久美子・河野亜也・油井恭子・[司会]八木美智子，4，312.
チャンスをつかめ3年目：森本一美，4，318.
[手記]転機となった3年目／生涯，看護婦であるために：式田秀子，4，322.
[手記]転機となった3年目／逆境をプラス思考で乗り越える：松永眞由美，4，324.
[手記]転機となった3年目／手ごたえある生きた看護を求めて：泉川久美子，4，326.
3年目におけるナースと一般職の違い——3年目看護婦研修に出席して：今井勝，4，328.

初の専門看護婦誕生か——日本救急医学会看護部会の試案をめぐる

- [資料1]救急看護婦(士)についての試案——日本救急医学会看護部会専門性小委員会，5，402.
[資料2]専門看護婦制度についての試案(抜粋)——日本看護協会専門看護婦制度検討委員会，5，403.
認定救急看護婦(士)の誕生を願って：高橋章子，5，404.
認定救急看護婦の誕生で、現場はどう変わるか：石井か代，5，410.
認定救急看護婦はどういう働きをするのか：満尾正・島崎修次，5，412.
アメリカにおける救急専門看護婦の資格と役割：高橋宏子，5，414.
[座談会]救急現場で求められる看護の専門性：加納佳代子(司会)・田口吉子・阿久津功・藤井千穂，5，417.

変容するケアの時代の法的・経済的枠組み

- [総論]変容するケアの時代の法的・経済的枠組み——高齢化社会の看護・介護の役割とその経済：高木安雄，6，498.
「医療法改正」にみる看護職の課題：外口玉子，6，505.
変わる看護サービスの提供体制とその業務内容——老人保健制度と老人病院：小山秀夫，6，509.

診療報酬が看護体制に与える影響：菊池令子，6，515.
看護業務の見直しと他職種との業務分担：杉谷藤子，6，519.

看護と生命倫理の現在

倫理委員会における看護婦の役割：星野一正，7，594.
看護における生命倫理とは：有田幸子，7，598.
新生児医療における生命倫理の実際：相澤加代子，7，601.
訪問看護の現場で：紅林みつ子，7，604.
生命倫理の教育は人間観，生死観の形成にあり：藤腹明子，7，609.

患者の自立に向けて——さまざまな看護現場で

セルフケアを学ぶ人のために：上野恭子，8，690.
アサーティブネス：身体障害者のセルフケア：武田宜子，8，695.
セルフヘルプグループから生まれる力：吉田英津子・穀山聡子，8，700.
精神科看護領域におけるセルフケア：宇佐美しおり・粕田孝行，8，704.
小児の自立への援助と看護婦の役割：中垣紀子・田島香代子，8，709.
老人のセルフケアをどうとらえるか：坂口千鶴，8，713.

院内感染最新事情

病原菌別にみる院内感染の特徴：川名林治，9，786.
基本的ケアからみた感染防止：柴田清，9，793.
院内感染防止の基本——医師の立場から：稲松孝思・増田義重，9，799.
[座談会]インフェクションコントロールナースの現状と役割：林滋子・田中一枝・今井栄子・矢野久子・休波茂子・篠木絵里，9，803.
MRSA 対策から2年を経過して——国立東京第二病院看護部：小西洋子・松本明子，9，810.
MRSA 感染の現状と対策——国立大阪病院救命救急センター：井上真佐子・井口幸子・波多江由起子，9，813.

ICN大会 in マドリード

[インタビュー]Unity for Quality——言外のメッセージをどう受け止めるか：中西睦子，10，882.
ICNが持つ意義と日本の看護界が果たす役割：片田範子，10，886.
看護の“質”の向上のために何をなすべきか——ICN大会全体会議の報告：亀岡智美，10，890.
私のICNコミットメント——世界の看護婦と話し合った“奨学金”問題：倉田トシ子，10，894.
マドリード“狂騒”曲：三宅はつえ，10，898.
看護学生たちのテイク・オフ：古橋知子，10，902.

[対談]専門分化へのチャレンジ：岡谷恵子・小代聖香，10，906.

介護を担う隣人たち

介護の専門化が進む中でいま，看護職のアイデンティティが問われる：栗原知女，11，978.
看護と介護の違い——法解釈を中心に：丸山美知子，11，984.
介護福祉教育の実態と課題：松山洋子，11，988.
看護と介護の現場から／「在宅ケアから」：荒井節子，11，992.
看護と介護の現場から／「介護福祉士として」：岩井敏江，11，994.
看護と介護の現場から／「老人病院から」：内藤美津子，11，996.
看護と介護の現場から／「老人保健施設から」：中村ひとみ，11，998.
看護と介護の現場から／「特別養護老人ホームから」：上野米子，11，1000.
[インタビュー]家族が求める看護・介護とは：二宮敏子・太田喜久子，11，1003.

アメニティへの接近

療養環境のアメニティと看護：小滝一正，12，1074.
藤沢市民病院のアメニティ向上への取り組み：本誌編集室，12，1078.
[インタビュー]ホテルに学ぶアメニティづくりの哲学：箕島清人，12，1082.
病院における“生活”の復権——患者からみた療養環境：浜口正進，12，1084.
患者の日常生活に関する病棟規則の再考——消灯時間・入浴・電気製品の持ち込みについて：渡邊紀子・川幡富子，12，1091.

●学生の広場

仰臥位保持における苦痛の訴えと皮膚温の変化：浅井智美・佐々木恵美子・清水富士子・鈴木栄子・高橋さつき・長沼真弓・成田真由美・小坂信子・藤井博英，1，52.
腹部での体温測定の検討——腋窩が密着しない患者の検温について：平田やよい・加悦磨理子・兼次留美子・木下博子・小林純子・永山サヤ子・伴佳子，3，242.
患者との人間関係についての一考察——コミュニケーションのとれない場面を振り返って：芝田さおり・佐川秀美，5，428.
排尿の早期自立に向けての援助——まずはオムツを外すことから：山本絵美子・本田英子，6，529.
言葉を「まつ」ことの重要さ：内藤優美，7，613.
発達段階を考慮した乳児へのスキンシップについて学んだこと：吉村靖史，7，618.
その人らしさを尊重する看護とは：高橋智子，8，718.

学校における性教育の実践：山口さゆり，10，914.

●研究と報告

新卒看護職養成体制の現状分析(2)——国の地域別養成体制の問題点：守屋研二，2，145.

正岡子規の看護論——『病床六尺』を中心に：高橋正雄，4，341.

なぜ、今「手」なのか——日本看護研究学会 近畿・四国地方会 秋の京都セミナーに参加して：野村光子，5，457.

老人ホームにおける看護と看護婦の役割——チームワークと主体性について：浜田賀子・日元淳子・宮田とも子・長利千賀子，7，631.

MRSA 感染患者の看護——感染防止と隔離による精神症状の改善をめざして：岸本敦子・坂田みどり・藤原由香・岩本久美子・玉田ふじ子，9，839.

看護教育において脳死と臓器移植の問題をどうとらえるか——学生の意識調査から：木村久美子・豊嶋三枝子，12，1111.

●ベッドサイドの看護

PCU 病棟における症状緩和への看護ケア——チームによる取り組みでより良い終末を迎えられた I 子さん：富野多津子，3，236.

●特別記事

求められる看護業務の法的拡大——訪問看護の現場から：守山伸子，3，230.

特別座談会——地域保健活動における看護師の可能性：末安民生・外山誠・真船拓子・黒田桂子・藤田和夫(司会)，6，523.

北里大学病院看護部における継続教育計画：古庄富美子，9，816.

こんな助っ人欲しいな！——背面開放型端座位保持具を考案：川島みどり，9，818.

24 時間保育の導入とその成果：石塚晴男，9，822.

今改めて検温を問う：芳賀佐和子，11，1008.

特別掲載——今こそ事例研究を——臨床看護の質を高めるために——第 90 回医学書院看護学セミナー：川島みどり，12，1103.

●第一線に飛び出した修士ナースたち

武田宜子さん／国立身体障害者リハビリテーションセンター病院婦長，1，1.

亀岡智美さん／千葉大学医学部附属病院看護婦，2，97.

鶴田恵子さん／横浜市衛生局医療対策部病院事業課，3，193.

山田雅子さん／セコムトウエンティフォー(株)コーディネーター，4，289.

野並葉子さん／国家公務員等共済組合連合会虎の門病院管理婦長，5，385.

河正子さん／救世軍清瀬病院緩和ケア病棟，6，481.

若狭紅子さん／東京女子医科大学病院看護部，7，577.

岡田実さん／亀田総合病院附属幕張クリニック看護室長，8，673.

宇佐美しおりさん／前長谷川病院クリニカルナーススペシャリスト，9，769.

藤尾まゆみさん／北里大学病院 CNS・外科病棟主任，10，865.

山里千栄子さん／初富保健病院看護婦，11，961.

小沼絵理さん／南大和病院ホームケア室，12，1057.

●生体のメカニズム：大橋俊夫

⑬[循環の生理]③動脈硬化症とはどんな病気なのだろうか，1，4.

⑭[循環の生理]④心臓はどのようにして血液を送り出すのか，2，100.

⑮[座談会]生理学って難しい？：大橋俊夫・深澤佳代子・高橋雪枝，3，196.

⑯[循環の生理]⑤心電図はどのようにして描かれるか，4，292.

⑰[循環の生理]⑥心音で何だろう，5，388.

⑱[呼吸の生理]①なぜ“息”をするのか——気道や肺のかたちと働き，6，484.

⑲[呼吸の生理]②「息をするのが苦しい」のはどこが異常か，7，580.

⑳[呼吸の生理]③「呼吸の変化」がバイタルサインの指標となるわけ，8，676.

㉑[消化・吸収の生理]①寝ながらあめ玉を食べるのはやめさせよう，9，772.

㉒[消化・吸収の生理]②「胃潰瘍」の治療法から学ぶ胃液分泌のからくり，10，868.

㉓[消化・吸収の生理]③消化・吸収からみた“離乳”の仕組み，11，964.

㉔[消化・吸収の生理]④大腸の不思議な仕組み——下痢の原因を考える，12，1060.

●食事ウェーブ 12 か月：小島昌恵

①食べることは入院生活最大の楽しみ，4，290.

②ベッドサイドに季節をお届けします——旬の材料を使った“ごちそうの日”，5，386.

③特別食をおいしく食べてもらうために，6，482.

④残菜「ゼロ」をめざして，7，578.

⑤“食べる”ということを考える時①，8，674.

⑥“食べる”ということを考える時②——嚥下障害の患者さんにも“ごちそう”を，9，770.

⑦健康教室で楽しく学ぼう——継続看護を栄養士の立場からとらえる その 1，10，866.

⑧糖尿病教室で栄養とふれあおう——継続看護を栄養士の立場からとらえる その 2，11，962.

⑨看護婦から栄養士へのバトンリレー——分担・連携プレーで栄養指導を，12，1058.

●褥瘡の治療と看護の実際

- ①総論 褥瘡とは？：本多純男，4，345.
- ②褥瘡の保存療法：木村哲彦，5，449.
- ③褥瘡の手術的治療とその看護：大谷清・小林久代，6，545.
- ④老人における褥瘡の特性とその治療：渡辺幸子・吉田亮一，7，641.
- ⑤褥瘡看護の実際：落合美美子，8，737.

●[ルポ]訪問看護はいま：宮崎和加子

- ⑩出前医療・福祉で寝たきり老人ゼロをめざす——公立みつぎ総合病院での実践，1，68.
- ⑪ホスピス病棟と連携する訪問看護——訪問看護ステーション開設間近の淀川キリスト教病院，2，154.
- ⑫事業主は宮城県看護協会——宮城県三本木町・大崎訪問看護ステーション，3，250.
- ⑬在宅ケアを総合的に推進する——東京・板橋区立おとしより保健福祉センター，4，353.
- ⑭過疎農村地域の訪問看護を推進する——佐久総合病院付属小海町診療所，5，440.
- ⑮[デンマーク訪問記]①24時間在宅ケア——カルンボー市での実践から学ぶこと，6，553.
- ⑯[デンマーク訪問記]②デンマークでの在宅ケア，7，625.
- ⑰[デンマーク訪問記]③高齢者問題解決のKeyとなる看護職，8，724.
- ⑱[座談会]在宅ケアの今後への提言——デンマーク在宅ケアから学ぶもの宮崎和加子・荒井節子・遠藤信子・トープフィスカー・伊東敬文，9，825.

●はみだし留学生の San Francisco スクラップブック：小泉滋子

- ⑨医療，福祉，社会にみる日米の大きな違い，1，78.
- ⑩看護学ってナニ？，2，178.
- ⑪患者を支えるボランティアグループ，3，274.
- ⑫家庭とキャリアのはざままで悩む女性たち，4，372.

●のんちゃんのでこぼこMYロード：堀内園子

- ⑫期末テストでヒーヒーの巻，1，86.
- ⑬子どもたちにはモッテモテの巻，2，186.
- ⑭新しい出会いに胸がワクワクの巻，3，282.

●思い出すけっち[あの人あの時あの言葉]

- ⑭若い人たちに思いを託す：梶久子，2，170.
- ⑮戦後史に看護の確かな足取りをみる：山田ヒサイ，3，270.
- ⑯“奉職”から“生きがい”に変わった看護：永瀬フミエ，4，370.

●インタビュー 第一線に飛び出した修士ナースたち：[インタビュアー]井部俊子

- ①ナースの力を引き出すためにプライマリナーシングの導入を試みる／武田宜子，1，48.

- ②臨床で働くことの楽しさや価値を伝えられる仕事がしたい／亀岡智美，2，151.
- ③行政部門の立場から看護業務改善に取り組む／鶴田恵子，3，256.
- ④日本的な看護サービスをめざして／山田雅子，4，337.
- ⑤看護実践を変えていくために臨床での研究にこだわり続ける／野並葉子，5，446.
- ⑥気持ちよくすごしていただくことを基本にしたケアをしている／河正子，6，542.
- ⑦患者，家族，そして看護婦が抱える心の問題のコンサルタントとして活躍する／若狭紅子，7，637.
- ⑧地域に出向く看護でも男性が行けば，女性と違った役割ができる／岡田実，8，734.
- ⑨精神科病院でクリニカルナーススペシャリストとして活躍／宇佐美しおり，9，834.
- ⑩スタッフには自分のことを癌看護のクリニカルナーススペシャリストと売り込んでいます。患者さんに対しては…／藤尾まゆみ，10，925.
- ⑪老人病院で院内教育プログラムを刷新／山里千栄子，11，1024.
- ⑫自分の目で見て判断し，計画を立てて評価という，一連の看護ができることが魅力です／小沼絵理，12，1128.

●Good コミュニケーションをあなたに

- ①どうしたらコミュニケーション上手になれるか？：津田司，1，64.
- ②望ましい態度，望ましくない態度——態度類型：津田司，2，160.
- ③耳を傾け，相手を受け入れる——傾聴・受容・共感：大滝純司，3，260.
- ④質問の仕方にもいろいろある——種類と使い分け：津田司，4，360.
- ⑤情報収集する時のコミュニケーション——インタビュー技法：津田司，5，462.
- ⑥うまく運ばない時——見直しのチェックポイント：大滝純司，6，558.
- ⑦くいちがいはこうして起こる——医療者・患者間のズレ：藤崎和彦，7，654.
- ⑧面接上のバイタルサイン——心と体をつなぐサイン：大滝純司，8，750.
- ⑨メリハリということ——明確化・まとめ・直面化：大滝純司，9，850.
- ⑩言葉だけに頼らない——非言語的コミュニケーション：津田司，10，936.
- ⑪好きな患者，嫌いな患者——転移と逆転移：藤崎和彦，11，1032.
- ⑫さまざまなトレーニング方法：藤崎和彦，12，1136.

●日々の看護ケアと生命倫理と：岡部恵子

- ①生命倫理を考えることは看護を考えること，1，62.
- ②「家で死ぬ」を選ぶことの苦しさ，2，166.

- ③死にざまは、生きざまそのもの, 3, 266.
- ④臓器移植をめぐる私の想い, 4, 366.
- ⑤臓器移植をめぐる惑いと気づきと, 5, 468.
- ⑥生命の重みと現実の間で, 6, 564.
- ⑦減数出産——医師の立場を考えてみる, 7, 660.
- ⑧人はなぜ安楽死を望み、恐れるのか, 8, 756.
- ⑨重い尊厳死の選択, 9, 854.
- ⑩私のつぶやきを材料にして……, 10, 940.
- ⑪胎児診断がもたらすもの, 11, 1042.
- ⑫欲望との果てしなき葛藤, 12, 1146.

●私が小児看護に魅かれる理由^{わけ}：白土陽子

- ①いのちのそばで想うこと(1), 1, 76.
- ②いのちのそばで想うこと(2), 2, 168.
- ③いのちのそばで想うこと(3)——療護園生とともに, 3, 268.
- ④いのちのそばで想うこと(4)——輝く瞳に励まされて, 4, 368.
- ⑤いのちのそばで想うこと(5)——家族とともに, 5, 470.

●私が癌看護に魅かれる理由^{わけ}：外京ゆり

- ①自然治癒力を信じて, 6, 566.
- ②自然治癒力を信じて(2)——仏のトミさん, 7, 662.
- ③自然治癒力を信じて(3)——アメリカから来たナンシーさん, 8, 758.
- ④自然治癒力を信じて(4)——気づきから始まる癌予防, 9, 856.

●私が精神科看護に魅かれる理由^{わけ}：安藤幸子

- ①置き去りにされた『心』, 10, 942.
- ②立ちはだかる『現実』, 11, 1044.
- ③暗闇のむこうに, 12, 1148.

●スウェーデンからこんにちは・番外編——ブラックベリイ病院スタッフの日本訪問記：本間マサ子

- ①未知の国、日本への期待, 1, 58.
- ②文化の違いを見せつけられた——日本へ来て本当に良かった, 2, 172.

●[海外レポート]カリフォルニアの病院で見たこと、考えたこと：清水妙子

- ①日本とこれだけ違うアメリカの医療システム, 5, 434.
- ②合理的で陽気なたくましいナースたち, 6, 536.
- ③患者の権利に決定的な違い——依存症に対する精神医療をみて, 7, 649.

●[インタビュー]ここが知りたいアメリカ看護

：岩井郁子・川島みどり

- ①アメリカの臨床看護は今, 9, 844.
- ②スタンダードケアへの流れ, 10, 918.

- ③看護診断のいまと臨床実習, 11, 1014.
- ④看護教育の現状, 12, 1118.

●[リレーレポート]いきいき看護研究

- ①神奈川県立こども医療センター／子どもたちのために研究結果を日頃の実践にフィードバックして：田島香代子・大熊紀代子, 10, 928.
- ②横須賀市立市民病院／1つの研究から病院全体の問診票へ：宮崎悦子・間瀬紀子, 11, 1020.
- ③総合病院土浦協同病院／現状を把握しステップアップ：重村淳子, 12, 1124.

●始めよう！プライマリナースング：野並葉子

- ①Step 1 “関心を持つ”ということ, 10, 932.
- ②Step 2 “話をする”ということ, 11, 1028.
- ③Step 3 “看護をみんなで味わう”ということ, 12, 1132.

●おしえて看護婦さん！今どき医療の？：松木玲子

- ①おっぱい残せるのになぜ？, 10, 944.
- ②病院って誰のためにある？, 11, 1036.
- ③東洋医学って医学じゃないの？, 12, 1140.

●看護ボヘミアン——出会いと発見のつれづれ

：林千冬

- ①人生劇場, 10, 950.
- ②花と龍, 11, 1046.
- ③舶来製果物缶詰1ダース, 12, 1150.

●未来予想図 たとえば私の……

- ①患者心理の理解できる看護婦に：遠藤史子, 10, 952.
- ②おもちゃ箱をフィールドに：沼尾美智代, 11, 1048.
- ③サバイバル精神を胸に：村岡智恵美, 12, 1152.

●でもやっぱり歩きたい[直子の車椅子奮闘記]

：滝野澤直子

- ⑬Tシャツが着られない, 1, 82.
- ⑭お尻が切れた(1), 2, 182.
- ⑮お尻が切れた(2), 3, 278.
- ⑯新車がきたよ, 4, 376.
- ⑰お母ちゃん, 5, 472.
- ⑱大漁だえ〜♪, 6, 568.
- ⑲外泊, 7, 664.
- ⑳おしっこの温もり, 8, 760.
- ㉑パンダじゃないぞお, 9, 858.
- ㉒やる気のなくなる理由[1], 10, 954.
- ㉓やる気のなくなる理由[2], 11, 1050.
- ㉔風, 12, 1154.

●プッツン看護婦物語

- ㉕こりゃあ思わずプッツンだあ〜の第29話, 1, 90.
- ㉖赤字の原因見つけたの第30話, 2, 190.

- ③①こんなビョーキもあるんだってばの第31話, 3, 286.
 ③②まったくもう, この頃の学生はの第32話, 4, 380.
 ③③看護婦応援団の編集者にももの申すの第33話, 5, 476.
 ③④キンコンカンコン, 院内冠婚葬祭の第34話, 6, 572.
 ③⑤すっげえ〜だろう! あたしらのビョーキの第35話, 7, 668.
 ③⑥あ〜あ, 悲しいナースの性なのねの第36話, 8, 764.
 ③⑦白衣の天使って私のことよの第37話, 9, 862.
 ③⑧ゲゲェッ! そこまでする! の第38話, 10, 958.
 ③⑨チェッ! ついてないなあ私っての第39話, 11, 1054.
 ④⑩ど〜なる21世紀のニッポン! の第40話, 12, 1158.

●BOOK REVIEW

- 希望の医療ホスピス(中島修平・中島美知子著): 岡安大仁, 1, 74.
 救命救急看護(藤田五郎著): 渡邊淑子, 2, 164.
 ナースのためのパソコン入門(諏訪邦夫著): 小島通代, 3, 264.
 いくつもの愛につつまれて(沼尻素子・沼尻重男著): 富野多津子, 3, 265.
 ころは生きている——ある看護婦とのカウンセリングプロセスに学ぶ(石原文里著): 岡部恵子, 4, 364.
 看護臨床指導のダイナミックス——効果的な臨床実習の展開, 第2版(西元勝子・杉野元子著): 藤井淑子, 4, 365.
 看護理論と看護過程(横尾京子・他監訳): 大谷英子, 5, 466.
 老人医療への新しいアプローチ——全人的評価とケア(日野原重明・柄澤昭秀編): 中島紀恵子, 5, 467.
 キラリ看護(川島みどり著): 大島弓子, 6, 563.
 タフに生きたい——痛快ナースのアメリカ患者体験(樽井恵美子著): 埴まゆみ, 8, 748.
 在宅ケアマニュアル(津田司, 新津ふみ子編): 岩井恒子, 8, 749.
 医療現場における こんな時のカウンセリング(白井幸子著): 城井正憲, 10, 912.
 系統看護学講座 文化人類学(波平恵美子編): 高村寿子, 10, 913.

●MOVIE REVIEW

- 山崎章郎のベストセラー映画化「病院で死ぬということ」, 2, 165.

●グラフ

- 目でみるエイズ——エイズの感染病理像: 倉田毅・佐多徹太郎, 1, 2.
 目でみるエイズ——HIVの電顕写真像: 山本直樹,

- 1, 15.
 病院で生きる楽しみを——2つの老人病院での試み, 2, 106.
 近代看護揺籃期の看護書をひもとく, 3, 202.
 看護の心は障害を越えた, 4, 300.
 地域に出かける看護婦さん——問われているのは「人間術」徳島県阿南市の富士医院: 木村松夫, 5, 396.
 夜勤でもこれなら安心! ——家庭との両立を支える24時間保育 松戸市立病院の試み, 6, 492.
 自然の中で英会話交流会——浜谷で開かれた「CD CLUB」のバーベキューパーティー, 7, 588.
 僕らはみんな生きている♪——第5回赤十字ヒューマニティフォトコンテスト入選作品より, 8, 684.
 僕らはみんな生きている 生きているから…♪——赤十字ヒューマニティフォトコンテストより, 9, 780.
 ICN大会 in マドリッド, 10, 876.
 入院から在宅までをきっちりフォロー——松山リハビリテーション病院 在宅ケア事業部の活動: 木村松夫, 11, 972.
 たまごたちの体験実習——聖隷クリストファー看護大学の基礎看護学学内実習, 12, 1068.

●SCOPE

- “文化”として認められた看護活動——札幌麻生脳神経外科病院の紙屋克子氏と看護部が吉川英治文化賞受賞, 6, 562.
 第3回“看護フォーラム”開催される——人が人を思いやり助け合う, 7, 624.
 新会長に見藤隆子氏を選出——平成5年度日本看護協会通常総会開催される, 8, 730.
 磨かれた技にみる「看護の心」——第3回「看護教員と臨床指導者のための基礎看護技術再検討セミナー」開かれる, 12, 1116.

●ズームイン

- 知的ハンディキャップを持つ若人が, 看護助手として勤務——横浜・景翠会金沢病院の英断, 4, 331.
 なぜ血圧計で血圧が測れるのか——聖隷クリストファー看護大学, 12, 1095.

●TOPICS

- 日本での研修からの学び——中国から初のWHO奨学研修員: 范湘鴻, 3, 247.

●言いたいフォーラム

- 百万ドルの微笑を武器にして——私の訪問看護奮闘記(2): 西田佳世, 1, 94.
 私がA先生を好きな理由: 野村光子, 4, 382.
 質の高い看護記録とは: 神子戸敬子, 4, 382.
 頭でっかちの押しつけナース: 坂井由美, 4, 383.
 家族の見方が変わった: 武田よし子, 4, 383.
 日本的文化背景と看護過程: 樺山たみ子, 7, 670.

看護がプロの技術として評価される時代に：織井優貴，7，671.
マンネリ化の目立つ看護系雑誌のテーマ：本間美幸，7，671.
生命操作に疑問：森田純子，7，671.
エイズが看護に問うているもの：池田優子，8，766.
エイズと闘う血友病患者の実情：野村光子，8，767.

●モニターだより

ケアの重要性をあらためて知る：三宅和子，1，92.
時代を先取りした堀川病院の外来：大崎由良，1，92.
外来は病院の“顔”：深海由子，1，93.

外来患者は看護の質を高める教師だ：井上由美，1，93.
性的存在としての患者：鈴木寿恵子，5，478.
オープンになってきた性の問題：谷口昌子，5，478.
情けない私のエイズ患者体験：沼尾美智代，5，479.
エイズへの対応に必要なこと：本間美幸，5，479.
学ぶことを学ぶ：鈴木寿恵子，6，574.
完治不能，私の“学習熱病”：沼尾美智代，6，574.
一歩踏みだす勇気と厳しい壁と：森田純子，6，575.
学ぶ…，その後に望むこと：本間美幸，6，575.

❖吉川英治文化賞に輝く著者による看護職への熱いメッセージ❖

医学書院

私の看護ノート

紙屋克子

札幌麻生脳神経外科病院看護部長

●B6 頁224 1993

定価1,545円(税込) 千400

[ISBN4-260-34106-5]

「これではなおしてもらったことにはなりません！」一命はとりとめたものの意識障害となって横たわる夫と幼な児を抱えた妻の叫びに、何とか応えたいと、独特の看護プログラムを開発し、今年度吉川英治文化賞を受賞した紙屋克子氏の著作集。21世紀は高齢化社会，核家族化，医療の高度化が進み，「ケアの時代」といわれるが，21世紀に向けて今看護は何をなすべきか，看護婦に何が求められているのか，四半世紀にわたる看護経験をふまえて探る。

ご協力
のお願い

unicef

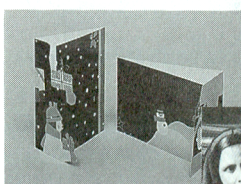
ユニセフ・グリーティング・カード

ユニセフ（国際児童基金）はWHO，国際ロータリークラブ等と協力して，1990年までに全世界の1歳未満の子どもたちへの予防接種率を80%にまで高めることに成功しました。対象となった病気は，ポリオ，はしか，ジフテリア，破傷風，百日咳，結核の6つです。1980年の予防接種率は20%でした。この「予防接種拡大計画」によって毎年300万人の命が助かるようになりましたが，いまだにこれら6つの病気で死ぬ子どもたちが年に180万人以上います。

ユニセフは，2000年までに地球上からポリオを撲滅し，接種率を90%に高める等の目標を掲げていますが，皆様のご支援が緊要です。

ユニセフ・グリーティング・カードをご購入くださるとその純益が予防接種を含めた母子保健，衛生，栄養等の支援プロジェクトの財源になります。例えば20枚のカード販売益で1人に6種の全ワクチンを接種できるのです。

●どうかご協力ください。



「クリスマスプレゼント」
井沢洋二「冬の旅」より



パキスタンでの
ポリオワクチン投与

カタログ(無料)のご請求は

〒163-91 新宿区郵便局私書箱123号

(財)日本ユニセフ協会 カード事業部 医学書院係

Tel: 03-3355-3255 Fax: 03-3355-3830